

サポインネットワーク倶楽部 正会員 企業概要

企業名	株式会社テララコード研究所 [てららこーどけんきゅうしょ]			会員ID	M-188
住所	〒477-0032	愛知県東海市加木屋町郷中53の25			
代表者	寺浦 信之				
URL	<a href="http://www.tcodes.jp">http://www.tcodes.jp</a>				
設立	2009年5月1日	資本金	5百万円	従業員数	2人
業種	情報媒体の開発、製造				
事業内容	①情報媒体の研究、開発、製造及び販売 ②情報媒体を用いたシステムの開発及び販売 ③情報媒体及びそれを用いたシステムに関するコンサルティング				
主な製品	耐放射線RFタグ				
主要取引先	日本原子力研究開発機構				
連絡先	担当者	寺浦 信之			
	電話	0562-74-5378	FAX	0562-32-8982	
	E-mail	<a href="mailto:terranob@terrara.jp">terranob@terrara.jp</a>			
認定番号	中部1307007		認定分野	組込みソフトウェア	
認定計画名	既存バーコードと互換性のある大容量バーコード及びその読み取り装置の開発				
自社PR	<p>当社は、情報媒体の研究、開発を行っています。情報媒体としては、RFタグと光学的情報媒体があります。RFタグには、様々な環境の下で使用できる特殊な耐環境性RFタグがあります。</p> <p>当社では、独立行政法人日本原子力研究開発機構様との共同研究から、耐放射線RFタグを開発し、製造（委託）、販売を行っています。放射性廃棄物の管理や今後予想される廃炉処理から発生する廃棄物管理、その他原子力設備の保全に用いることを目的としています。また、光学的情報媒体としては、高機能なバーコードや二次元コードを開発しており、それらの読み取り装置の開発に取り組んでいます。</p> <p>バーコードは、グレイ化することにより、数倍のデータを収容可能となります。例えば、商品バーコードでは、商品の品番が収容されていますが、それに加えて、例えば消費期限やロット番号を収容することができます。これらのデータを販売店で読取ることにより、より高度な販売管理を可能とします。また、光学的情報媒体の二つ目として、二次元コードがあります。これについても、カラー化などの手法によって、大容量な二次元コードを開発を行っています。特に、現在普及しているQRコードと互換性を有したまま大容量化を図っているのが、特徴です。また、大容量化を行った部分にはセキュリティを掛けることができ、特定の人だけに情報提供できる特徴を有しています。</p> <p>現在、これらの読み取り装置の開発やスマートフォンでの読み取りソフトの開発を計画しています。</p>				
主要設備	設備名	型式・能力	メーカー	台数	生産能力
生産拠点	県 工場 県 工場			海外拠点	